

白馬村長 丸山俊郎 様

白馬村上下水道事業の今後の経営に係る意見書

令和4年度白馬村上下水道事業経営審議会は、令和4年7月27日に第1回が開催され、当審議会の経過や決算等の経営状況について説明を受けました。

第2回と第3回では、人口減少等に伴う料金収入の減少、施設の老朽化に伴う漏水事象や更新需要の増加、老朽化が要因となった有収率の低下などについて説明がありました。更には、今後の更新計画、経営指標を用いた経営状況、村民アンケートの集計結果、現在の白馬村の料金体系と近隣市町村との比較や傾向についての報告を受けたところです。

これまでの審議会において、意見交換を行い、今後の経営について下記のとおり提言します。

- ・ 電気代の高騰や物価高の影響を要因とした維持管理費用の増大をはじめ、上下水道事業の現状について広く周知するとともに、事業を理解していただく取り組みが必要である。
- ・ 二股浄水場の更新においては、将来を見据えた規模や方法によるものとして、的確かつ効率性の高いものとなるよう検討を進める必要がある。
- ・ 有収率の改善と、施設や設備の強靱化を図るためにも、営業収益の増加を図り、管路更新率の向上に努めるべきである。
- ・ 今後の人口減少による収入の減少と更新需要の増加が見込まれる一方で、積立金等の利益剰余金の確保については、水道及び下水道事業共に十分であるとは言い難い状況である。水道料金、下水道使用料の改定について早急に検討するべきである。
- ・ 他市町村と比較して、口径が大きく使用水量の多い大口需要者の料金設定が低く、口径が小さく使用水量の少ない一般家庭の料金設定が高い傾向にあるため、価格改定にあたっては大口需要者の上げ幅を大きくすべきと考える。
- ・ 料金の改定にあたっては、昨今の電気代の高騰や物価高が与える家計への影響についても配慮する必要がある。

以上、審議会では経費の削減をはじめとした効率的な経営を進めていくことを前提に、必要な施設の更新と強靱化は遅滞なく推進すべきと考えます。

これらの意見を踏まえ、コロナ禍及び物価高における村民生活への影響にも配慮しつつ、安全で安心な水道水の供給と安定的な汚水処理に向けて、料金体系の検証も含め持続可能な経営の在り方について引き続き検討をすべきと考えます。

令和5年3月27日

白馬村上下水道事業経営審議会
会 長 杉山 茂実